

令和2年1月27日

保護者各位

宮城県仙台第一高等学校  
校長 小林 裕 介  
( 公 印 省 略 )

令和元年度「生徒・保護者共通アンケート」集計結果について（報告）

厳寒のみぎり、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「生徒・保護者共通アンケート」の実施に際しましては、お忙しい中にもかかわらず、ご回答いただき誠にありがとうございました。調査結果の集計がまとまりましたので、下記の通りご報告いたします。この結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かし、さらなる学校の活性化とより良い学校づくりを推進していきたいと考えております。

今後とも、本校の教育活動により一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

記

- 1 実施期間 令和元年11月12日(火)～令和元年11月18日(月)
- 2 回答人数及び回答率

|     | 教職員 | 保護者 | 生徒全体 | 男子生徒 | 女子生徒 |
|-----|-----|-----|------|------|------|
| 回答数 | 56  | 613 | 874  | 488  | 386  |
| 回答率 | 95% | 64% | 91%  | 87%  | 97%  |

- 3 調査内容(14項目)

下記(1)～(14)の項目について「そう思う」、「大体そう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4段階で回答していただいた。

- (1)学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている（学習指導）
- (2)挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）
- (3)進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）
- (4)教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）
- (5)部活動は活発に行われている（部活動）
- (6)生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）
- (7)有意義な学校行事がある（学校行事）
- (8)地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）
- (9)災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）
- (10)学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）
- (11)校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）
- (12)学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ対応）
- (13)学校生活は充実している（総合満足度）
- (14)生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすようなSSH活動が行われている（SSH）

#### 4 調査結果（概要）と関係部署からのコメント

(1) 生徒全体、保護者、および教職員において肯定的な見解が90%前後となり、評価として芳しいものであった。教務部として、この状況を維持、更には向上をめざしていきたい。「定期アンケート」や「みやぎ学力状況調査」のアンケート結果等から生徒の実態を把握し、生徒への声かけの工夫や授業改善を呼びかけていきたい。

(2) LHRで行っている「社会的マナー」をテーマとした討論会などを通して、生徒同士の気づきにより自浄作用が機能するような働きかけを行う。また、教員一人ひとりが生徒の自覚を促すような関わり方を工夫しながら、社会の一員として通用するような立ち居振る舞いができるように支援していく。引き続き本校の生徒指導についてご理解を得られるように様々な場面で発信していきたい。

(3) 長期休業中の課外については応用力を養成することを目的としていますので、難易度の高い内容となっています。日頃の復習に関しては各教科から出されている休業中の課題を中心に取り組んでもらえればと思います。また、休業中に補習授業を行っている教科もあります。

進路意識を高めるための進路講演会だけでなく、広く進路を考えるための進路行事もありますので、うまく利用してもらえればと思います。

学校で設定している3学年全員受験の校外模試は6月以降毎月1回ですので、計画的に受験に向けて力を付けていくためには必要な回数ではないかと思えます。これ以外の模試を数多く受けようと考えると負担が大きくなり過ぎますので、年度当初に模試受験に関して計画的に予定を組んでもらえればと思います。塾や予備校によっては受験しなければならない模試もあるかと思えますが、すべての生徒に対する年間模試計画ですので、御理解をお願いします。

(4) 今年度より担当カウンセラーの先生が変更となり当初心配があったが、生徒・保護者の認知・理解度は上昇傾向に有る。教職員の部分においては次年度対策にも出ている件等、今後の共通理解を進めながらスムーズな教育相談を行っていきたい。

(5) (6) (7) 生徒が中心となって活動する部活動・生徒会活動・学校行事については、比較的良好な回答が得られているので、今後も生徒が充実した生活が送れるよう継続して支援していく。

今年度「部活動に係る活動方針」(HP掲載)を作成いたしました。自主的・自発的な活動を尊重しながらも、学校生活のバランスを考えて活動できるよう指導していきたい。

(8) ほぼ昨年度と同様の傾向が見られた。概ね肯定的な意見であるが、生徒よりも保護者の方が「特色がある」と感じている率が高いことが特徴的である。生徒がさらに特色を実感できるような「学校づくり」を全体で考えていく必要があるのではないかと。

(9) 昨年度、大きくポイントを下げた項目であるが、生徒の意識として昨年よりやや向上が見られた。昨年度の反省を生かし、「入学のしおり」にも文書を入れたり、PTA総会でも周知をはかったりしたところであるが、保護者の意識が向上していないことはさらに方策を考えていく必要があると感じている。生徒の安全をはかるための方策と、保護者への周知徹底をよりいっそうはかっていきたい。

(10) 特に保護者のポイント向上が見られた項目である。PTA総会などで「学校からのお便りはないか」などの生徒への日常的な声かけを勧めること、HPをなるべく早めに更新することなどの活動がやや浸透してきたものと考えている。ただし、自由記述欄に「なかなかおたよりが届かない」などのご意見もいただいているので、よりいっそう上記の点を徹底していきたい。また、教員からの評価ではポイントの低下が見られたので、その点各所からさまざまご意見をいただければと思っています。

(11) 「そう思う」「大体そう思う」と答えた割合は、生徒で前年度比 4.3 ポイント減の 78.7%，保護者で 5.1 ポイント減の 83.7%となっているが、教職員では 4.5 ポイント減の 46.4%となっている。

生徒・保護者では、施設・設備全体という視点で「整備されている」と感じているものと思われるが、ここ数年の夏の猛暑によるエアコン設置要望や、教室の黒板の反射による見えづらさに対する意見や、「保護者説明会等における駐車場の確保」等に関する意見もある。

校地・校舎の構造上からくる「外部からの侵入のし易さ」という安全面の問題は、本校の抱える課題と捉えている。

一方、教職員でもエアコン設置要望は多く見られ、教室はもちろんのこと執務室への設置率の低さ、遮光カーテンへの移行や体育館の音響の改善が進まないことがこの数値につながっているものと推察される。

教室等及び執務室へのエアコンの設置に関しては、県全体での施策に基づくものとなるため、今後の動向を踏まえながら適宜対処していきたいと考える。

教室黒板の改修等に関しては、県立学校 ICT 機器推進事業において、順次全ての黒板をプロジェクター投影用黒板に更新しプロジェクターを設置する計画となっている（本校は来年度か再来年度実施）。

遮光カーテン設置に関しては、高額で一度には設置できないため、予算要望を含め年次的な設置を検討していきたい。

体育館の音響は、今年度関連機材を整備し改善を行う。

校庭を駐車場として使用したいという意見については、公共交通機関を利用して頂きたい旨の案内と体育の授業で使用する為、駐車場として解放することは考えていない。

校舎の構造を原因とした安全面での課題については、対処方法や校内運用も考慮し検討を加えていきたいと思う。

(12) いじめ対応については、学年集会や LHR 討論会で「いじめ」や「SNS の使い方」について話題として取り上げ、考えさせる機会を持たせている。また、担任との面談や毎考査後に実施している 4 回の調査を通して、いじめに関する実態を把握するようにしている。調査結果については、本校のいじめ防止基本方針（HP 掲載）に沿って、不安要素等を職員間で共有した上で迅速かつ緊密な対応を行っている。

(14) 生徒・保護者は、本校の SSH の目的である「生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすような SSH 活動」について、「そう思う」「大体そう思う」という回答が 9 割を超えている。これは生徒自身、また、保護者が SSH 活動を通しての生徒の変容・効果を実感したうえで好意的な回答をしたと考える。

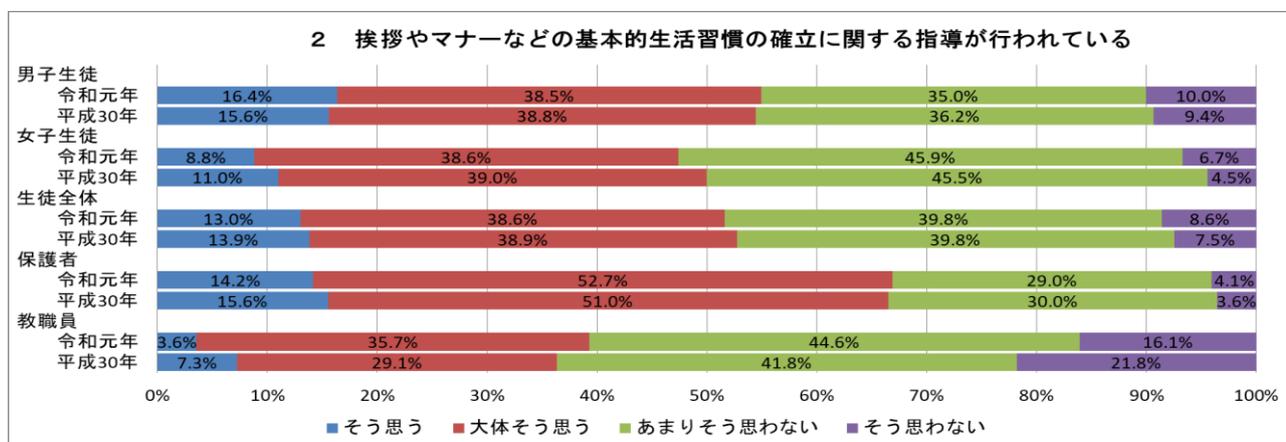
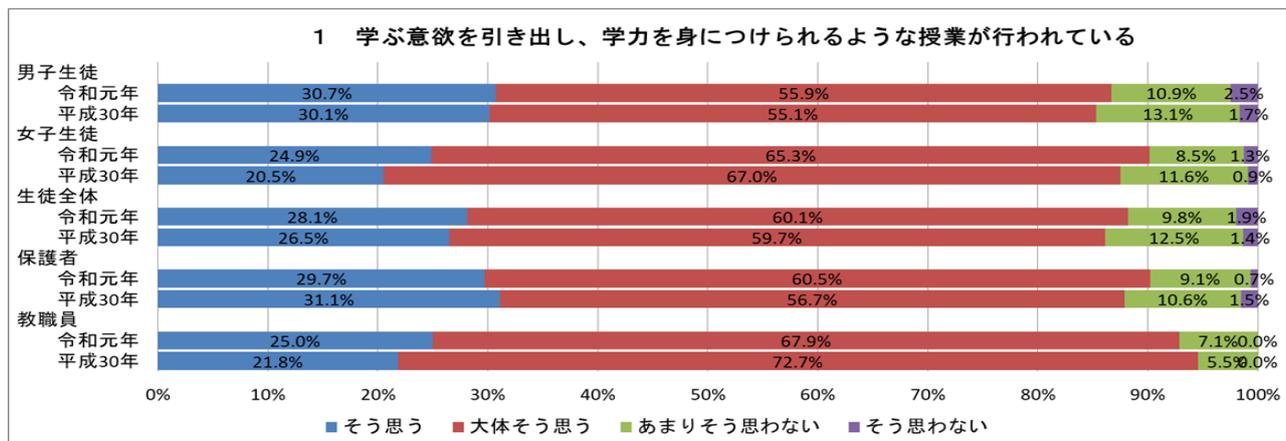
教員では「あまりそう思わない」とする回答が 28.6%である。現段階では SSH 事業が継続中であり、どのような SSH 活動にすれば目的を達成できるのか具体的な意見を聞き・協働しながら、さらに有意義な SSH 活動にしていきたい。

## 5 調査結果（数値）

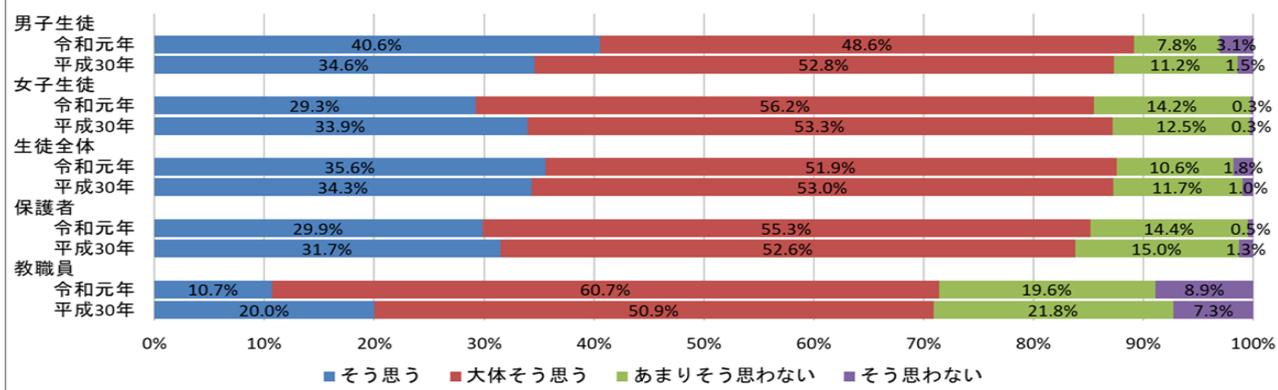
調査項目ごとの肯定的な回答（「そう思う」または「大体そう思う」）の割合、順位、前年度比較の増減値をまとめたもの。

| 調査項目           | 生徒全体  | 順位 | 前年比増減    | 保護者   | 順位 | 前年比増減    | 教職員    | 順位 | 前年比増減    |
|----------------|-------|----|----------|-------|----|----------|--------|----|----------|
| (1) 学習指導       | 88.2% | 5  | 2.1ポイント  | 90.2% | 6  | 2.4ポイント  | 92.9%  | 3  | -1.7ポイント |
| (2) 生徒指導       | 51.6% | 14 | -1.1ポイント | 66.9% | 13 | 0.3ポイント  | 39.3%  | 14 | 2.9ポイント  |
| (3) 進路指導       | 87.5% | 6  | 0.3ポイント  | 85.2% | 8  | 0.9ポイント  | 71.4%  | 11 | 0.5ポイント  |
| (4) 教育相談       | 80.4% | 9  | 2.6ポイント  | 82.9% | 11 | 0.1ポイント  | 78.6%  | 7  | -3.2ポイント |
| (5) 部活動        | 96.8% | 1  | -0.8ポイント | 96.2% | 2  | -2ポイント   | 100.0% | 1  | 3.6ポイント  |
| (6) 生徒会活動      | 72.0% | 12 | -0.3ポイント | 86.5% | 7  | -2.9ポイント | 80.4%  | 6  | -6.9ポイント |
| (7) 学校行事       | 95.0% | 2  | -0.7ポイント | 97.2% | 1  | -0.1ポイント | 98.2%  | 2  | 3.7ポイント  |
| (8) 特色ある学校づくり  | 83.3% | 8  | -1.1ポイント | 93.3% | 4  | -0.4ポイント | 73.2%  | 9  | -3.1ポイント |
| (9) 防災教育       | 76.8% | 11 | 1.3ポイント  | 74.6% | 12 | -4ポイント   | 78.6%  | 8  | 2.2ポイント  |
| (10) 開かれた学校づくり | 85.0% | 7  | 3ポイント    | 84.0% | 9  | 7ポイント    | 58.9%  | 12 | -4.7ポイント |
| (11) 施設設備      | 78.7% | 10 | -4.3ポイント | 83.7% | 10 | -5.1ポイント | 46.4%  | 13 | -4.5ポイント |
| (12) いじめ対応     | 70.9% | 13 | 2ポイント    | 58.4% | 14 | -2.3ポイント | 83.9%  | 5  | 11.2ポイント |
| (13) 総合満足度     | 93.7% | 3  | 1.4ポイント  | 96.1% | 3  | 1.6ポイント  | 89.3%  | 4  | 2ポイント    |
| (14) SSHについて   | 91.8% | 4  | -0.6ポイント | 91.8% | 5  | -0.4ポイント | 71.4%  | 10 | -1.3ポイント |

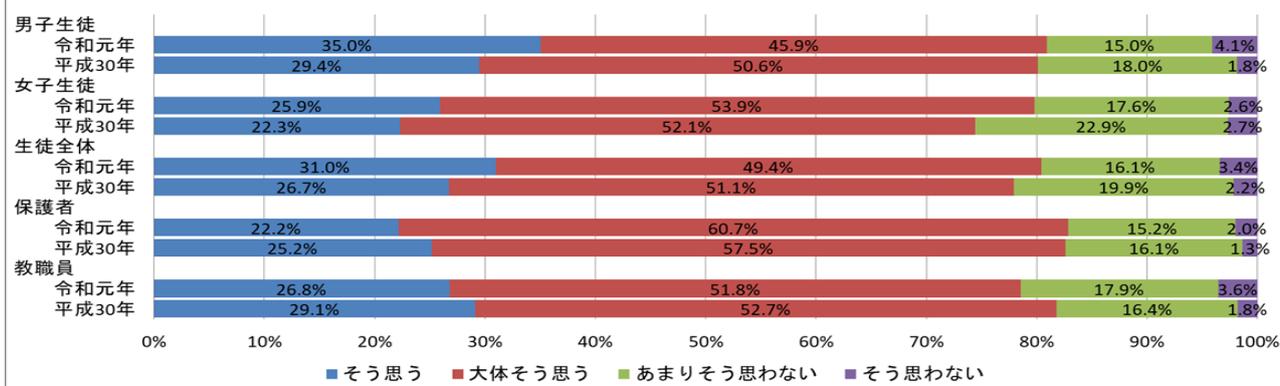
## 調査項目ごとの割合



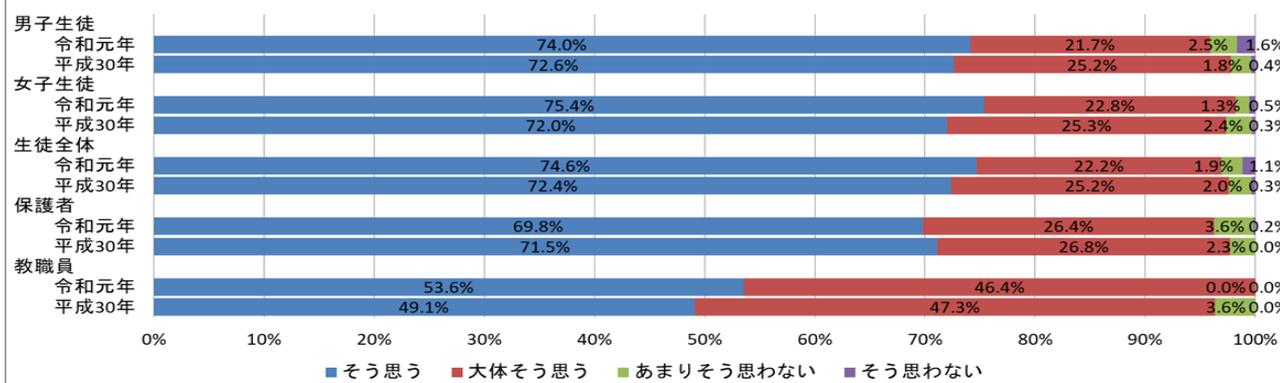
### 3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている



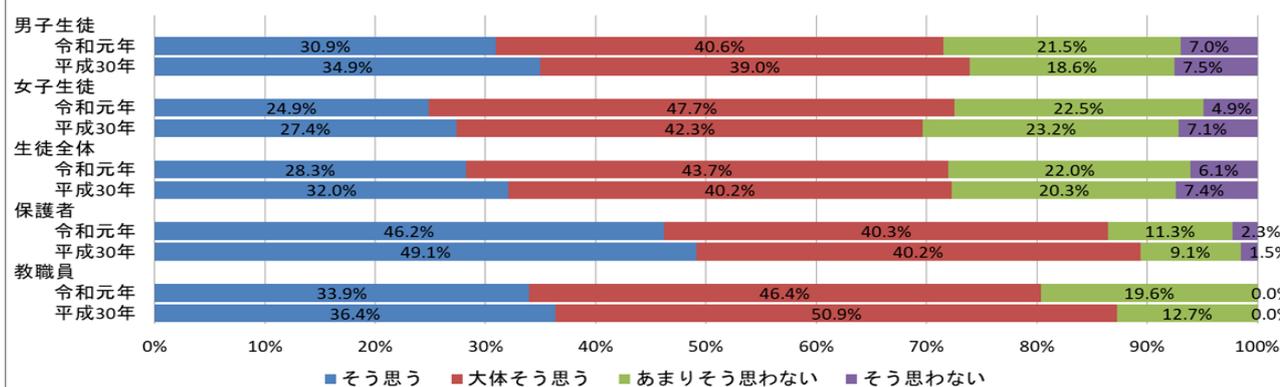
### 4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている



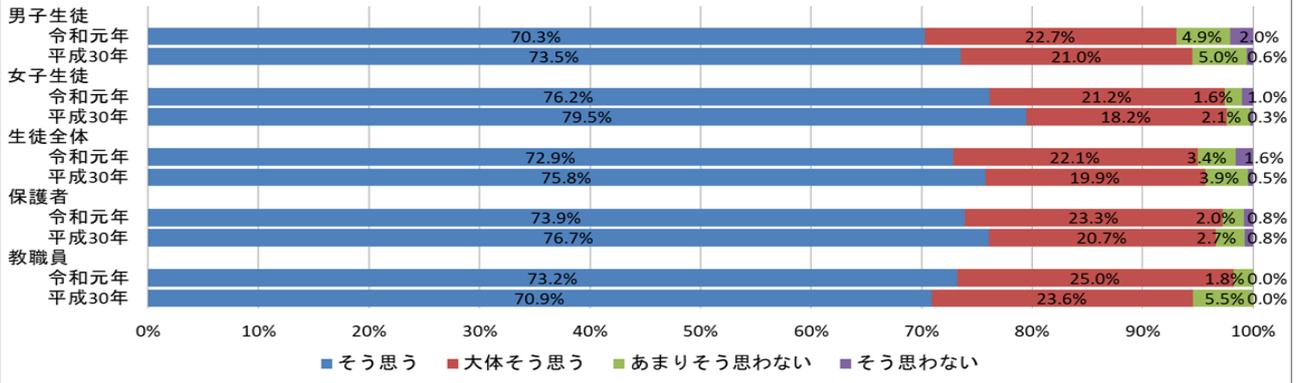
### 5 部活動は活発に行われている



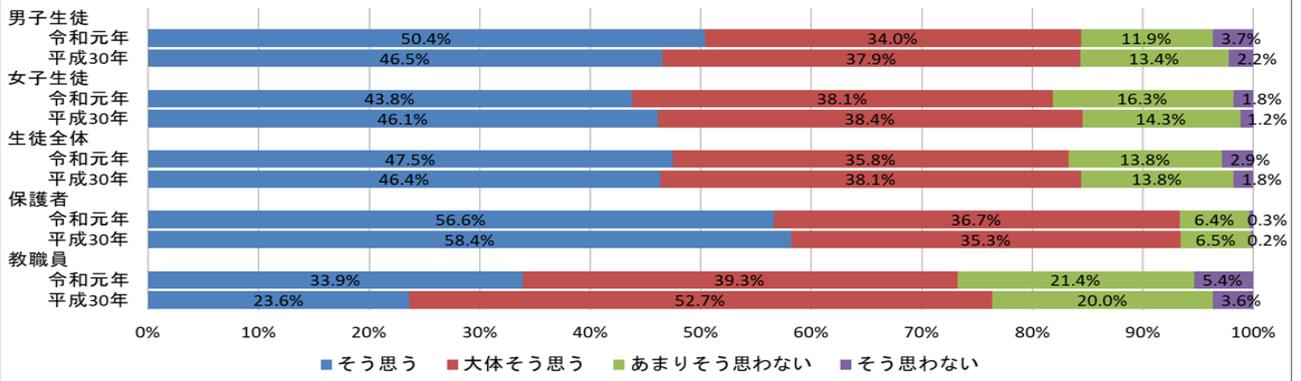
### 6 生徒会活動は活発に行われている



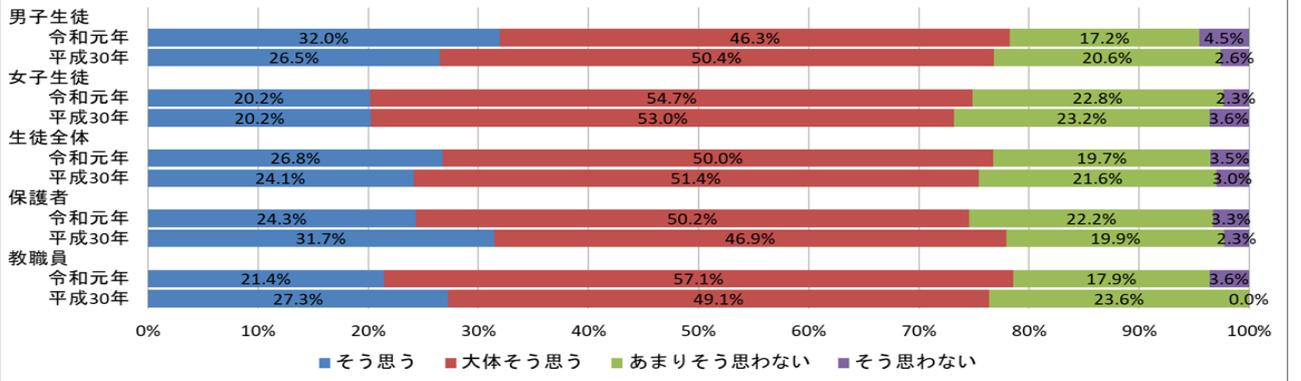
### 7 有意義な学校行事がある



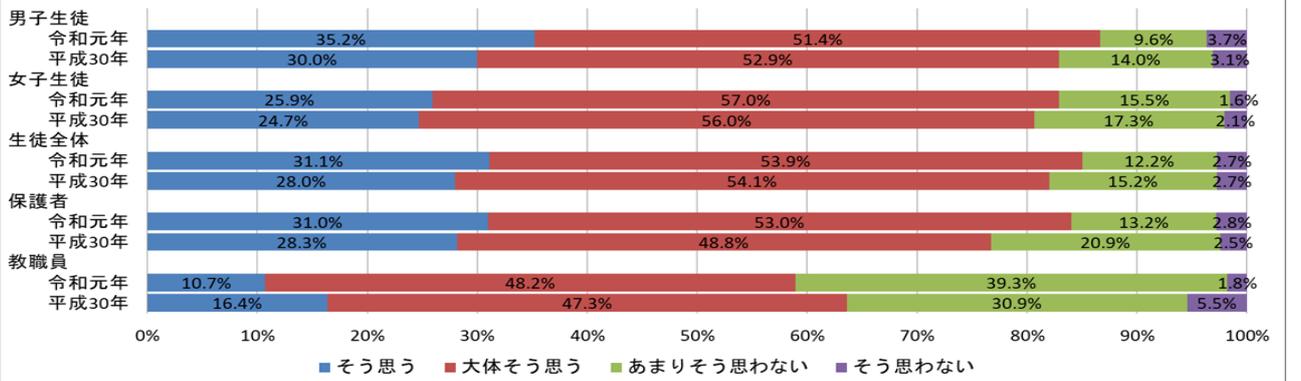
### 8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる



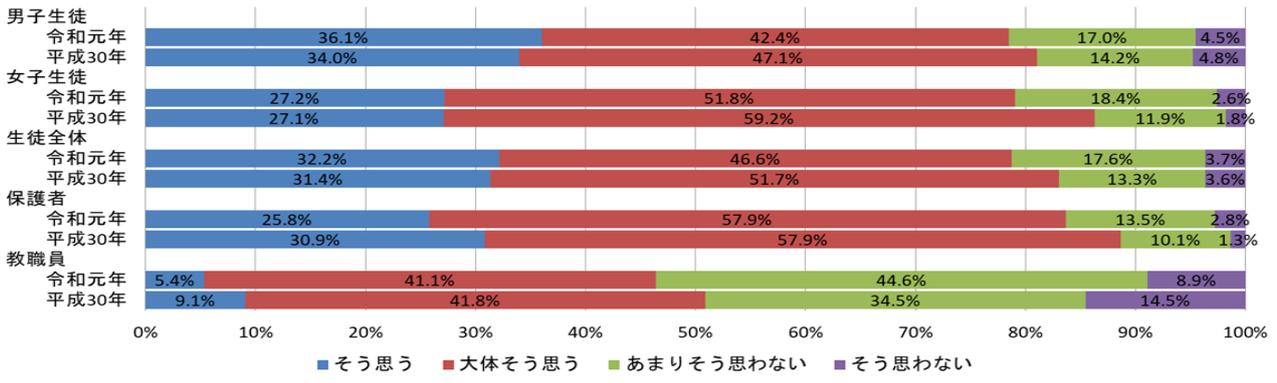
### 9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



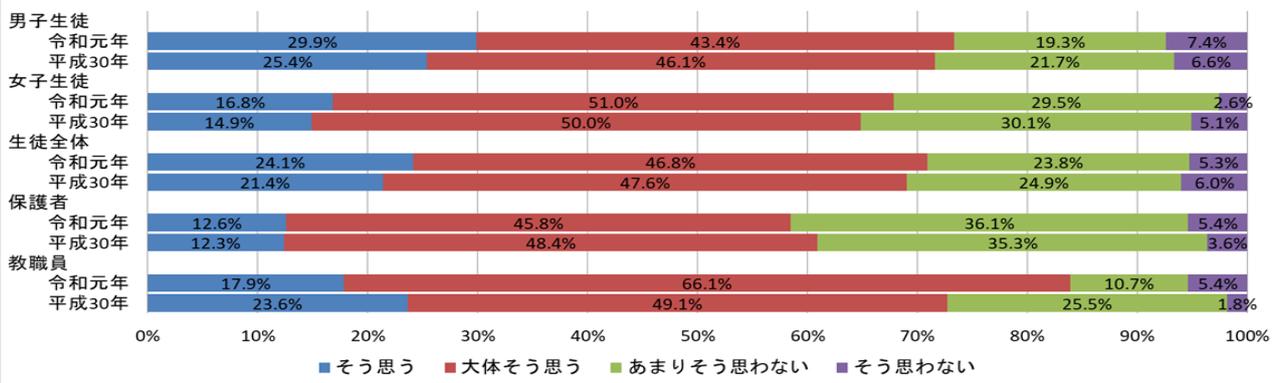
### 10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている



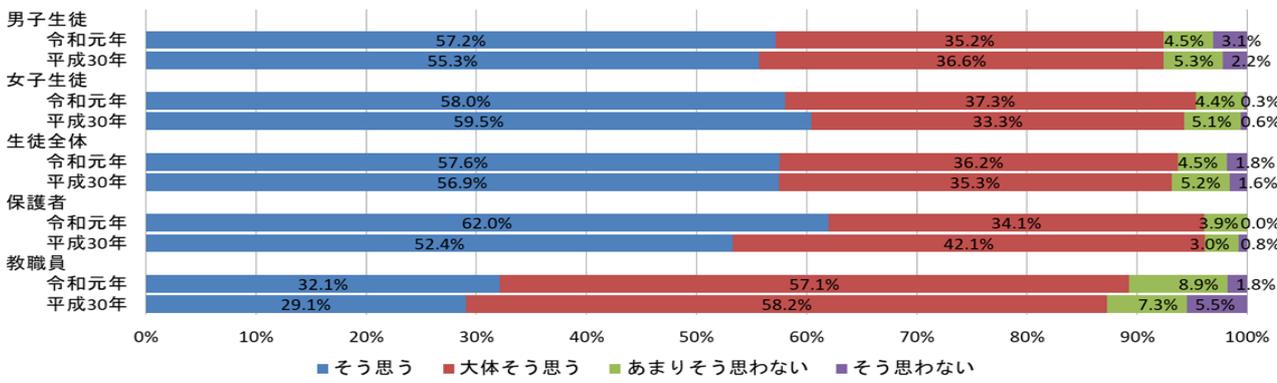
1-1 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



1-2 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる



1-3 学校生活は充実している



1-4 生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすようなSSH活動が行われている

